



樹木が吸収する二酸化炭素の値を調べる菊華高の生徒＝守山区の小幡緑地で

## 脱炭素社会 樹木から学ぶ

守山区の菊華高の生徒が五日、同区の小幡緑地で樹木の二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)吸収力を測定する調査を体験した。尾張旭市の名古屋産業大の長谷川泰洋講師(植物生態学)が指導し、生徒たちは脱炭素社会を考えるきっかけにしていた。

理科実験に取り組む選択授業の一環で、十三人が出席した。生徒たちはクスノキやアラカシの枝葉を緑地の許可を得て採取。容器に入れて日光

### 菊華高生、CO<sub>2</sub>吸収力測定

に当てて十分間待ち、CO<sub>2</sub>濃度の変化を機器で測定した。日陰に置いた場合の変化も測定し、葉の面積なども調べた。

次回の授業では、樹木ことの数値の変化の違いなどをまとめる。林幸太郎さん(も)は「教科書では知っていた光合成のはたらきを確認でき、納得した。二酸化炭素削減のために身近なことから変えていきたい」と話した。

(梶山佑)